

チャレンジすることの大切さ

使用者委員 中村 博之

最近、大学や高校で生徒さんたちに話をし、その後ディスカッションをする機会がありました。高校生・大学生の皆さんと話をする中で、私自身たくさんの気づきや感動をいただきました。

会社の社員の人たちや、こういう機会をいただいた時に、よく質問をすることがあります。「成功の反対は何だと思えますか？」です。普通の回答は、「失敗」です。小学校の授業ではこのように教わると思います。私はいつも「何もしないこと」が、「成功」の反対だと思おうと説明します。

「成功するためには、チャレンジして行動しよう。うまくいかない事があるからこそ、今回はこうしようと改善がうまれるのです。そして試行錯誤を繰り返すからこそ、自分自身を高めたり、成長することを実感できる。」とお話しします。

こういう話をした後、次のような感想をいただきます。「結果を気にして何もせずに行動を起こしていなかった」「この頃チャレンジすることを忘れていた」などです。但しその後以下のような意見をいただきます。「失敗を恐れずにチャレンジしてみよう」「まずは勇気を持って取組んでみよう」です。

これらの言葉は、実は私自身に言い聞かせている言葉でもあります。日々の生活に追われて「チャレンジ」することを忘れがちになります。自分から行動を起こさなければ変わらない。自分が変わるからこそ周りも変わると思うからです。

このような場で話をすることがあと幾つかあります。ひとつは「物事を複眼的視点でみること」、もうひとつは「ダーウィンの進化論」です。

物事がある一面だけから見ると正しく思えても、他の面から見ると間違いに思えることは時々起こります。物事を正しく理解し判断するためには、いつも複眼的な視点や考え方もつことが大切であり、誤った判断を少なくできるとお話しします。

ダーウィンの格言の中に、「最も賢いもの、最も強いものが生き残るのではない。環境の変化に最も適応したものが生き残る」があります。当然、日本や鹿児島文化や習慣の中で残していかなければいけない良いことは沢山あります。一方で、私たちは、未来で暮らす子供たちに安心して生活できる社会を引き継がなければいけません。環境の変化をしっかりと受けとめ、適応しながら成長していくことが必要だと説明しています。

生徒さんにこのような話をすると素直に受け止め、自ら変わり行動していこうという感想をいただき、私もまず「自分自身から」と思った次第です。